

令和元年度 外郭団体点検評価の結果

1 目的

全ての外郭団体の必要性や経営の健全性等について点検評価を実施し、評価の結果を公表するとともに、行政経営推進委員会による外部評価を実施し、団体の経営改善等につなげていく。

2 点検評価の内容

- ・ 外郭団体 29 団体のうち、今年度新設された 2 団体を除く 27 団体を対象に実施
- ・ 「事業成果」、「団体の必要性」、「経営の健全性」の観点について重点的に点検

3 点検結果（概要）

- ・ 昨年度同様、2 団体について「抜本的な改革が必要」と評価
- ・ 今後、この 2 団体について、行政経営推進委員会において個別検証を実施

評価項目	良好	改善を要する	抜本的な改革が必要
事業成果※	18 団体→19 団体	7 団体→7 団体	1 団体→1 団体
団体の必要性	25 団体→25 団体	1 団体→1 団体	1 団体→1 団体
経営の健全性	15 団体→17 団体	10 団体→8 団体	2 団体→2 団体

※H30 事業成果は(公財)ふじのくに医療城下町推進機構(H29.8.1 設立)を除く 26 団体を点検評価

団体名	評価項目	H30 評価	R1 評価	評価理由等								
(一財)静岡県労働福祉事業協会	事業成果	抜本的な改革が必要	抜本的な改革が必要	宿泊利用者は前年度比で約 100 人増加したが、目標の達成には至らなかった <おおとり荘宿泊人員(単位:人)> <table border="1"> <thead> <tr> <th>H28</th> <th>H29</th> <th>H30</th> <th>(R1 目標)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>14,691</td> <td>14,095</td> <td>14,199</td> <td>16,000</td> </tr> </tbody> </table>	H28	H29	H30	(R1 目標)	14,691	14,095	14,199	16,000
	H28	H29	H30	(R1 目標)								
14,691	14,095	14,199	16,000									
経営の健全性	抜本的な改革が必要	抜本的な改革が必要	収支均衡に向けた更なる取組が必要 <単年度収支(単位:千円)> <table border="1"> <thead> <tr> <th>H28</th> <th>H29</th> <th>H30</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>▲69,072</td> <td>▲26,277</td> <td>▲29,040</td> </tr> </tbody> </table>	H28	H29	H30	▲69,072	▲26,277	▲29,040			
H28	H29	H30										
▲69,072	▲26,277	▲29,040										
(一財)静岡県青少年会館	団体の必要性	抜本的な改革が必要	抜本的な改革が必要	青少年を取り巻く環境変化を踏まえ、会館及び法人の存在意義の明確化が必要								
	経営の健全性	抜本的な改革が必要	抜本的な改革が必要	単年度収支が大幅な赤字でありながら、抜本的な改革がなされていない <単年度収支(単位:千円)> <table border="1"> <thead> <tr> <th>H28</th> <th>H29</th> <th>H30</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>▲2,989</td> <td>▲4,682</td> <td>▲4,497</td> </tr> </tbody> </table>	H28	H29	H30	▲2,989	▲4,682	▲4,497		
H28	H29	H30										
▲2,989	▲4,682	▲4,497										

4 点検結果（項目別）

(1) 事業成果

- ① 団体の事業成果を示す指標と目標値を設定し、その達成状況を定量的に評価
⇒27 団体 96 指標のうち、56 指標（約 6 割）が目標を達成
- ② ①の指標の達成状況を踏まえ、団体の使命・役割の達成度を総括的に評価
⇒約 7 割の団体が「良好」と評価し、団体の使命を果たしている一方で、残りの約 3 割は改善に向けた取組が必要と評価

① 事業成果指標の目標達成状況

評価区分		H30	R 1
A：目標達成		53 指標 (57.6%)	56 指標 (58.3%)
目標	B：目標値との差 20%以内	29 指標 (31.5%)	31 指標 (32.3%)
未達成	C：目標値との差 20%超	10 指標 (10.9%)	9 指標 (9.4%)

② 事業成果の総括評価（県所管課による評価）

評価区分	H30	R 1
○：良好	18 団体 (69.2%)	19 団体 (70.4%)
△：改善を要する	7 団体 (26.9%)	7 団体 (25.9%)
×：抜本的な改革が必要	1 団体 (3.8%)	1 団体 (3.7%)

「△：改善を要する」、「×：抜本的な改革が必要」と評価した団体の状況

評価 (H30→R1)	団体名	主な事業成果指標等の状況
△ → ○	静岡県土地開発公社	用地契約達成率 (20.2%→73.7%)
	(公財)静岡県文化財団	企画事業参加者数 (2,368 人→2,601 人)
	(公財)静岡県漁業振興基金	マダイ放流尾数 (646 千尾→1,050 千尾)
○ → △	(公財)静岡県障害者スポーツ協会	障害者スポーツ応援隊派遣回数 (新規指標) が目標未達成
	(公社)静岡県農業振興公社	農地売買等支援事業 (買入面積 12.3ha→1.1ha)
	天竜浜名湖鉄道株	年間輸送人員 (1,625 千人→1,546 千人)
△ → △	(公社)静岡県畜産協会	家畜防疫互助事業加入農家率が目標未達成
	(一財)静岡県青少年会館	貸館事業の利用者が減少傾向
	(公財)浜名湖総合環境財団	マリーナ契約隻数等が目標未達成
	(株)エイ・ピー・アイ	経常利益、粗利益が目標未達成
× → ×	(一財)静岡県労働福祉事業協会	宿泊施設の利用者数が目標未達成

(2) 団体の必要性

- ・ 団体の設立目的や果たすべき使命・役割、社会経済環境の変化、他団体との役割分担、(1)の事業成果などを勘案して「団体の必要性」を総括的に評価
- ・ 団体の専門性や有効性の観点から、多くの団体が必要性が有ると評価する一方で、2団体については改善・改革が必要と評価

団体の必要性の評価（県所管課による評価）

評価区分	評価		備考
	H30	R 1	
○：良好	25 団体 (92.6%)	25 団体 (92.6%)	
△：改善を要する	1 団体 (3.7%)	1 団体 (3.7%)	(一財)静岡県労働福祉事業協会
×：抜本的な改革が必要	1 団体 (3.7%)	1 団体 (3.7%)	(一財)静岡県青少年会館

(3) 経営の健全性

- ① 経営健全性を示す指標(単年度収支、経常損益、剰余金)について定量的に評価
⇒経常損益は黒字が3団体減少（黒字→赤字化：5団体、赤字→黒字化：2団体）
したものの、資産については、昨年度同様、25団体(9割強)が剰余金を保有
- ② ①の状況を踏まえ、団体の経営の健全性について総括評価
⇒17団体(6割強)が「○：良好」と評価（昨年度から2団体増加）
 - ・ 赤字化した5団体の総括評価は、4団体が赤字要因等を加味して昨年度の評価を維持、残りの1団体は悪化（○→△）
 - ・ 黒字化等により経常損益の状況が改善した3団体は総括評価が向上（△→○）
 - ・ 経営改善に取り組んでいるものの収支の改善に至っていない団体もあり、継続的な取組が必要

① 健全性指標の評価

評価区分	単年度収支		経常損益		剰余金	
	H30	R 1	H30	R 1	H30	R 1
A：黒字	15 団体 (55.6%)	13 団体 (48.1%)	15 団体 (55.6%)	12 団体 (44.4%)	25 団体 (92.6%)	25 団体 (92.6%)
B：赤字 (特別要因有)	6 団体 (22.2%)	7 団体 (25.9%)	5 団体 (18.5%)	6 団体 (22.2%)	0 団体 (0%)	0 団体 (0%)
C：赤字 (特別要因無)	6 団体 (22.2%)	7 団体 (25.9%)	7 団体 (25.9%)	9 団体 (33.3%)	2 団体 (7.4%)	2 団体 (7.4%)

② 経営の健全性の総括評価

評価区分	H30	R 1
○：良好	15 団体 (55.6%)	17 団体 (63.0%)
△：改善を要する	10 団体 (37.0%)	8 団体 (29.6%)
×：抜本的な改革が必要	2 団体 (7.4%)	2 団体 (7.4%)

昨年度から評価に異動がある団体（経常損益の評価、総括評価）

経常損益の評価 (H30→R1)		総括評価 (H30→R1)	団体数	団体名
赤字化 5団体	A → B	○ → ○	2	(公財)静岡県文化財団 前年度の黒字解消 (公財)静岡県腎臓バンク … (収支相償)
	A → C	○ → ○	1	(公社)静岡県農業振興公社…次年度黒字化の見込
		△ → △	1	(株)エイ・ピー・アイ
		○ → △	1	(公財)しずおか健康長寿財団
改善 3団体	B → A (黒字化)	△ → ○	2	静岡県土地開発公社 (公財)静岡県舞台芸術センター
	C → B	△ → ○	1	(公財)静岡県暴力追放運動推進センター…計画的な剰余金解消
団体数	A:5→2(-3) B:2→3(+1) C:1→3(+2)	○:4→6(+2) △:4→2(-2)		

経常損益の評価 A：黒字 B：赤字(特別要因有) C：赤字(特別要因無)